

東北電力グループの環境マネジメント推進

当社企業グループでは、企業グループが一体となって環境負荷の低減に努めるべく、グループ全体で環境経営を推進しています。

東北電力グループの環境経営

東北電力グループでは、企業グループ30社による「東北電力グループ環境委員会」を設立し、グループ一体となった環境活動の方針、計画の立案、実績評価・見直しを行い、環境影響の継続的改善に努めています。

また、ISO14001に準じた独自の環境マネジメントシステムである、「東北電力グループ環境マネジメントシステム(T-EMS)」の導入・運用支援を行い、グループ全体で環境経営を推進しています。

東北電力グループ環境マネジメントシステム(T-EMS)

東北電力グループ環境マネジメントシステム(T-EMS)とは、当社企業グループ全体の環境活動のボトムアップを目的として、事務部門中心のグループ企業でも取り組みやすいように内容をアレンジした独自の環境マネジメントシステムです。

環境マネジメントシステムの国際的な規格であるISO14001や、環境省のエコアクション21を参考に策定した「T-EMSガイドライン」に基づき、導入・構築を行っています。

T-EMS 認証取得企業に対しては、当社企業グループ内のISO14001 審査員や内部監査員の有資格者が、環境への取り組み状況の審査を行い、東北電力グループ環境委員会の内部組織として設置した「T-EMS 推進委員会」へ報告のうえ、評価しています。T-EMS 認証の有効期限は、登録日を起点として3年とし、初回登録以降は毎年、維持審査または更新審査を行っています。

T-EMS は、所定の要求事項により構成されており、計画(Plan)、計画の実施(Do)、取り組み状況の確認・評価(Check)および全体の評価と見直し(Action)のPDCA サイクルを繰り返すことによって、環境への取り組みの継続的改善を図っています。

◆ 各種環境マネジメントシステムとの比較

	東北電力グループ EMSガイドライン	ISO14001	エコアクション21 (EA21)
策定機関	東北電力グループ環境委員会	ISO (国際標準化機構)	環境省
対象	東北電力グループ各社	あらゆる種類・規模の組織	中小企業
要求事項	Step1は16項目、Step2およびStep3は29項目	59項目の要求事項	ISO14001に準じた33項目
環境負荷	環境指標 (EA21をベースに構築)	各自で把握方法を構築	自己チェックシート (温室効果ガスを把握)
環境報告書	企業グループ全体で公表	各自で判断し作成する (凡例なし)	環境報告書の作成・公表 (凡例あり)
特徴	EA21に準じた内容でさらに取り組みやすい内容とし、レベルによりStep1、Step2、Step3を設定している。	EMSの骨格のみ要求しているため、独自にルールを社内に構築する必要がある。	ISOの求める骨組みに肉付け(具体的なルール)を掲示し、取り組みやすい内容としている。一方、環境報告書の作成・公表の義務や自己チェックシート調査項目が多い。

◆ 東北電力グループの環境管理体制



◆ T-EMS 認証取得企業 計24社 (2014年7月末時点)

- 東北発電工業 (株)、北日本電線サービス (株)、東北緑化環境保全 (株)、東北計器工業 (株)、(株)エルタス東北、東北ポートサービス (株)、(株)東日本テクノサーベイ、東星興業 (株)、東北エアサービス (株)、東北エネルギーサービス (株)、(株)トークス、荒川水力電気 (株)、東北インテリジェント通信 (株)、会津碍子 (株)、東北用地 (株)、東北ポール (株)、(株)東北電広社、東北天然ガス (株)、東日本興業 (株)、TDGビジネスサポート (株)、(株)東北開発コンサルタント、東北水力地熱 (株)、東北インフォメーション・システムズ (株)、北日本電線 (株) (順不同)



東北電カグループの環境経営

東北電カグループの環境マネジメント推進

東北電力環境マネジメントシステム (T-EMS) 認証取得企業の取り組み

TDG ビジネスサポート株式会社 「業務効率化を環境改善につなげる」

TDG ビジネスサポート株式会社は、主に東北電カグループ企業への金銭の貸付、企業財務に関するコンサルタント、経理・労務業務などを行っています。

2010年度に、東北電カグループ環境マネジメントシステム (T-EMS) の認証を取得し、「環境改善の基本は業務の効率化である」との考えのもと、業務効率化に向けたアイデアをお客さまに提案し実行することにより、環境目標である「受託業務に伴うコピー用紙の削減」の達成に努めています。

2014年度は、中期経営計画に基づき、従業員を対象とした環境教育を実施し、環境意識向上に取り組みました。

当社の事務所は、テナントビル内にあるため取り組みに制約もありますが、決められたルールの中で何が出来るかを、従業員一体となって知恵を出し合いながら考え行動しています。



東北電カグループ環境マネジメントシステム (T-EMS) 認証審査の様子

VOICE

東北電カグループ環境マネジメントシステム (T-EMS) を通じて 企業グループが一体となった環境経営を目指しています

T-EMS 審査リーダー 東北緑化環境保全株式会社 技術部 ISO担当部長 早川 俊郎



私は、企業グループが一体となった環境経営を目指すため、東北電カグループ環境マネジメントシステム (T-EMS) の認証審査を担当しています。

T-EMS の認証審査では、第三者の立場から、私たち審査チームが各企業を訪問し、現場における環境活動の取り組み状況の確認や経営層へのインタビューなどを行い、環境活動のPDCA サイクルが構築、維持されているかを確認しています。

また、毎年度、T-EMS 認証企業を対象に、内部監査員研修も実施しており、各企業の環境マネジメントシステムの推進に向けた人材育成にも努めています。

今後も、T-EMS の認証審査を通じて、良好な環境活動事例を企業グループ各社へ情報提供、水平展開することで、企業グループ全体の環境経営の底上げを図っていきたいと思います。



東北電カグループ環境マネジメントシステム (T-EMS) 内部監査員研修の様子

東北電力グループの環境マネジメント推進

東北電力グループ各社の環境への取り組み

株式会社ユアテック

メガソーラー「^{いしづもり}富谷石積太陽光発電所」が運転開始



富谷石積太陽光発電所（宮城県富谷町）が、2014年2月に運転開始しました。

富谷石積太陽光発電所は、設計・施工から運営までを株式会社ユアテックが行う初の大規模太陽光（メガソーラー）発電所であり、6,624枚の太陽光パネルを設置し、年間約110万kWh（一般家庭約340世帯の年間使用電力量に相当）の発電を予定しています。産業廃棄物最終処理場だった敷地に太陽光パネルを設置したことに加えて、単位面積あたりの出力が大きいパネルと、日陰でも発電しやすいパネルを併用した点が特徴です。

さらに、株式会社ユアテックでは、2カ所目の大規模太陽光（メガソーラー）発電所として、保原日の出太陽光発電所（福島県伊達市）の建設を進めており、2015年2月に運転開始する予定です。

今後も、培ってきた技術力を発揮し、地域社会・お客さまの期待にお応えすることで、“ライフラインのトータルサポーター”としてのユアテックの使命を果たしてまいります。



富谷石積太陽光発電所

東北発電工業株式会社、東星興業株式会社、東北自然エネルギー開発株式会社

小水力発電「^{まごいし}馬越石水力発電所」が運転開始

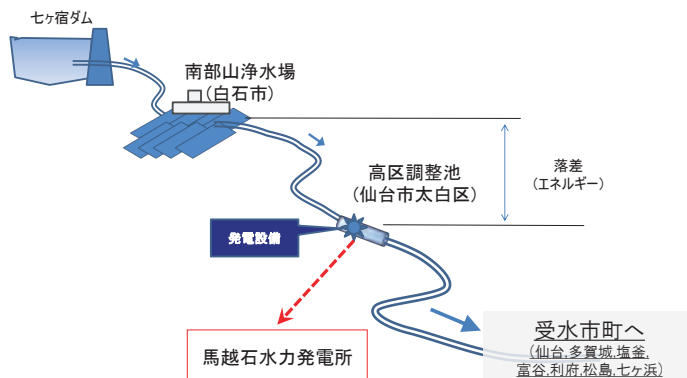


株式会社アクアパワー東北の馬越石水力発電所（宮城県仙台市）が、2014年8月に運転開始しました。

株式会社アクアパワー東北は、2013年7月に東北電力企業グループの東北発電工業株式会社、東星興業株式会社、東北自然エネルギー開発株式会社と、アジア航測株式会社、日本小水力発電株式会社が設立した会社であり、2014年1月から馬越石水力発電所の建設を進めていました。

このたび運転開始した馬越石水力発電所は、宮城県南部の南部山浄水場（宮城県白石市）と仙南・仙塩広域水道高区調整池（宮城県仙台市）の高低差によって流れ込む水道用水を活用し発電する、小水力発電所です。水道用水を使った小水力発電所は、宮城県内では初であり、年間約186万kWh（一般家庭約550世帯の年間使用電力量に相当）の発電を予定しています。

株式会社アクアパワー東北では、本事業の収益の一部を被災児童生徒の育英資金などに寄付するほか、環境学習や再生可能エネルギーの啓発の場として提供するなど、地域への貢献につなげていくこととしています。



馬越石水力発電所の位置関係



送水管につなげられた発電設備

東北電力グループの環境マネジメント推進

東北電力グループ各社の環境への取り組み

東北緑化環境保全株式会社

環境総合企業として、環境面から東北の復興をサポート

東北緑化環境保全株式会社は、2012年2月に策定した「2020TRK経営ビジョン」で、「環境保全に関することならすべてに対応できる『環境総合企業』」を目指すこととしました。

今、東北の被災地の皆さまから求められている、復旧、復興のための放射能除染・放射線（能）測定、再生可能エネルギーに伴うアセスメント及び、関連する自然環境調査などの業務を最優先と位置付け、地域の皆さまとともに、「復旧、復興そして再生」を目指し、日々の業務に取り組んでいます。

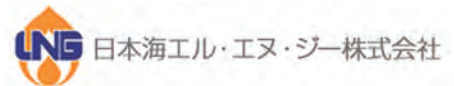
今後とも、東北地域に根差した企業として、地域の皆さまの安全・安心をサポートしてまいります。



サーベイメーターによる空間線量率測定の様子

日本海エル・エヌ・ジー株式会社

地域との“つながり”を育む「つなぎ育む森づくり」



日本海エル・エヌ・ジー株式会社では、地域貢献活動の一環として、地域の環境保全などにつながる森づくり活動「つなぎ育む森づくり」に取り組んでいます。

本活動は、これまで30年以上にわたり、この地域で事業を継続できたことへの感謝の気持ちを、形に残るもので地域へ恩返しすることを目的として、新潟県が推進する「にいがた森づくりサポート事業」を活用し、新潟県新発田市の滝谷森林公園において植林活動などを実施しているものです。

2014年6月に行った第7回目の活動では、社員やその家族、地元少年団など74名の参加者が、ノリウツギ、カンボク、エゴノキなどの苗を植樹しました。今後も、本活動などを通じて、地域の環境保全に貢献してまいります。



「つなぎ育む森づくり」の様子

東北電力グループの環境マネジメント推進

東北電力グループ各社の環境への取り組み

東北発電工業株式会社



「とうはつの森」里山整備活動 ..地域とともに..

東北発電工業では、宮城県が展開している「わたしたちの森づくり事業」に参加し、宮城県利府町の県有林を借用、命名権（ネーミングライツ）を取得し、当社のシンボルとして「とうはつの森」と名づけ2009年から社員と家族、OBの方々と植樹活動を展開しています。なお、社員の一体感・コミュニケーションを継続的に深めていく場とするため、昨年命名権を更新しました。

今年は4月19日、満開の桜や春の花々を眺めながら、植樹とともに湿地帯の木道・ベンチの設置など第7回目の活動を実施しました。

今後も、本活動を通じて、地域の方々が四季の花々を眺め、小鳥のさえずりに耳を傾け、楽しく散策できる「森」を目指し、社員の環境意識を高め、地域の環境保全に貢献してまいります。



「とうはつの森」活動前の森の状態



復興記念植樹



とうはつの森



植樹活動の様子



木道整備の様子